

みんなのSDGs



安全・安心を第一に、誰もが活躍できる職場で、物流の先端を担う皆さん

安全・安心を一番に —— ドライバーの働きやすい環境づくりに配慮

株式会社福島北桑運輸

物流の先端を担い、多種多様な製品をお客様へ届けている、株式会社福島北桑運輸の皆さん。日ごろからSDGsを意識しながら業務に取り組んでいます。製品を輸送する際は、狭い道路を使用せず、地域の皆さんの安全確保を最優先に心がけながら、ふんわりアクセルやアイドリングストップなどのエコドライブを徹底し、車両の排気ガス削減を推進。中古トラック導入や部品の再利用にも力を入れ、環境への配慮を欠かしません。また、男女の分け隔てのない、誰もが働きやすい職場づくりにも努め、子育てしながらでも管理職やドライバーとして活躍できる体制を実現しています。

「ドライバーのためになることはなにか常に考えている」と話す取締役統括部長の齋藤直人さん。夏の荷下ろしは、熱中症の危険と常に隣り合わせのため、新たにファン付きの服を全ドライバーに支給し対策するなど、従業員の安全にも気を配ります。「従業員があつての会社。安全第一と同時に、従業員の幸せを追究することが第一目標。今後も新しいものに目を向け、挑戦し続けたい」と思いを語ります。

【編集後記】

▶文明開化の象徴として建設された旧伊達郡役所。有志らの誘致活動に始まり、町民の寄付を基に、西洋建築を独学で学んだ地元大工の手により建設されました。行政の中心を桑折の地にと、当時の町民の熱い想いが伝わってきます。その後、桑折駅が開業し、半田銀山には県内初の水力発電所ができるなど、次々と町内の様子が変わっていききました。今は白黒写真でしか知ることはできませんが、当時の町の雰囲気を感じてみたいものです(大越)

◆人口(前月比)6月1日付

人口	計	11,126人	(-8)
※住民基本台帳/外国人含む	男	5,408人	(-2)
	女	5,718人	(-6)
世帯数		4,615世帯	(+1)
転入	16人	出生	7人
転出	16人	死亡	15人

◆今月の納税

- 固定資産税(2期)
- 国民健康保険税(普通徴収1期)
- 介護保険料(普通徴収1期)

期限 **7月31日** 日

◆住民票・戸籍・印鑑・税証明交付/印鑑登録/マイナンバーカード交付など窓口延長(毎週木曜日、午後7時まで。祝日除く。)

※当日下午5時までに税務住民課(☎582-2114)へ要予約。